

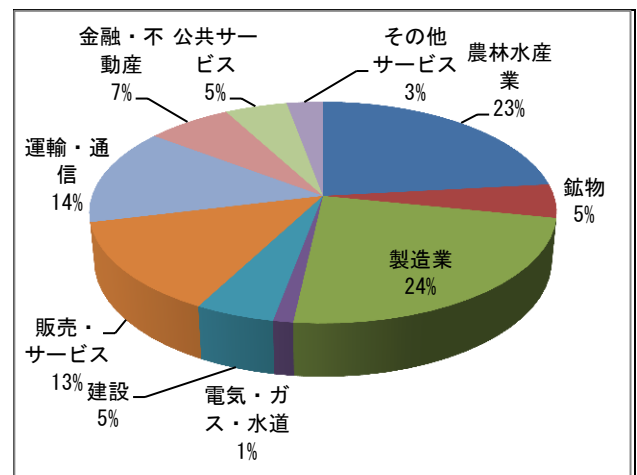
**コンゴ(民)経済情勢  
月例報告  
2015年12月**

**主な出来事**

- マタタ首相がロンドンで催されたアフリカ投資サミットに出席。コンゴ(民)経済の変遷や開発投資について演説。とりわけアフリカ商事法調和化機構(OHADA)への加盟や、投資総合窓口の設置などを例に、コンゴ(民)における投資環境の改善をアピールした。
- カビラ大統領が国会で演説を行い、原材料の国際市場の下落に懸念を示すとともに、コンゴ(民)経済の多様化と工業化を強く推奨した。2016年以降の目標として、経済特区の創設、国内各所の農産物パーク建設、ビジネス環境の改善などを訴えた。
- カビラ大統領は南アフリカで催された第6回中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)に出席。習大統領はアフリカ全体で600億ドルの借款支援を約束し、更にアフリカ諸国のなかでも後発諸国に対して、2015年末の債務帳消しを宣言した。これを受けて、コンゴ(民)政府は、600億ドルの支援をいかに多く引き寄せるための協議を実施。中国・コンゴ協力・計画調査事務局によると、バナナ地区の深水港建設、国内各所の鉄道整備、空港建設、キンシャサ・ルブンバシ間の道路建設などの事業提案を行う予定。

	主なマクロ経済指標	2014年	2015年12月
1	人口(百万人)	67.51	-
2	失業率(%)	42.98	-
3	実質GDP(百万ドル)	21,189.49	-
4	名目GDP(百万ドル)	36,061.18	-
5	一人当たりGDP(ドル)	516.6	-
6	GDP成長率(%)	9.5	7.7%(2015年末予想)
7	インフレ率(%)	1.04	0.77%(2015年末予想)
8	貿易収支(百万ドル)	1,445.17	-
9	輸出(百万ドル)	12,683.33	-
10	輸入(百万ドル)	11,238.15	-
11	対外直接投資(百万ドル)	343.60	-
12	対内直接投資(百万ドル)	2,552.98	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,644.46	1,506.43 (輸入6.22週間分)
14	対外債務残高(百万ドル)	5,190.96	-
15	為替レート(対ドル)	925.23	927.00
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	2.00

GDP セクター別構成比(2014年)



(2014年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2013年))

(出典:OECD African Economic Outlook 2014)

## **経済**

### **1. 市場**

#### **(1) 南ア企業、カナンガに太陽光発電所建設**

南アフリカの Megatron Fédéral 社が行っていたカナンガの太陽光発電所の建設工事が 20 日竣工した。これによりカナンガ地区は太陽光パネルによる 3 メガワットの電気エネルギーを享受できるようになる。(21 日付け Radio okapi など)

#### **(2) クエート人実業家、住居建設分野に投資**

クエート人実業家ファハド・イブラヒム氏が 15 日よりキンシャサに滞在している。目的はキンシャサの東部と西部への住居などの社会建築への投資である。今回はエグワケ国土整備・都市計画・住宅大臣と 4 億ドルの契約に合意する見込みであるが、最終的に 150 億ドル規模の投資となる可能性がある。(21 日付け Forum des As)

#### **(3) キンシャサ・カスンバレサ間、光ファイバー**

14 日、カビラ大統領は国会において、キンシャサ・カスンバレサ間の光ファイバー設置工事の開始を発表した。当回線は 3,300km におよび、コンゴ(民)とザンビア間を繋ぐ。コンゴ(民)は既にアナログ放送からデジタル放送へと移行している。(17 日付け ACP)

### **2. 財政・マクロ経済**

#### **(1) マタタ首相ロンドンで投資アピール**

マタタ首相は 2 日に催されたアフリカ経済の競争力強化を主題とする、アフリカ投資サミットに出席した。当サミットには 1000 人程の投資家が出席し、各国首脳の演説に耳を傾けた。マタタ首相はコンゴ(民)経済の変遷や、開発投資の機会について演説し、とりわけアフリカ商事法調和化機構(OHADA)への加盟や、投資総合窓口の設置などを例に、コンゴ(民)における投資環境の改善をアピールした。(3 日付け Observateur など)

#### **(2) 農業分野への予算配分**

8 日の世銀の報告によると、2003 年から 2013 年までの間に分配された農業分野への予算は全体の 3%にも満たないことがわかった。包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)の計算では平均 2%であった。CAADP はアフリカ連合(AU)が設けたアフリカにおける農業開発の枠組みであり、参加国に対し国家予算の少なくとも 10%は農業に割り当てるように要請している。世銀によると、同時期のコンゴ(民)の予算割り当ては、7%が保健、教育が 11%であった。(9 日付け Radio Okapi など)

#### **(3) コンゴ(民)における汚職、150 億ドルに上る**

ルズロ大統領汚職撲滅担当顧問は9日、コンゴ（民）の汚職額が毎年100～150億ドルに上っていると発表した。右は通常国家予算の2倍に当たる。各国の透明性を調査している国際NGOインターナショナル・トランスペアレンシーによると、コンゴ（民）は175か国中154番目に位置している。（10日付けロイター）

#### （4）カビラ大統領の国会演説（経済分野）

カビラ大統領は14日国会で演説を行った。演説によると、カビラ大統領は原材料の国際価格の下落に懸念を示すとともに、経済の多様化と工業化を強く推奨した。2016年以降の目標として、経済特区の創設、国内各所の農産業パーク建設、ビジネス環境の改善などを訴えた。（14日付けRFI）

#### （5）トロイカ戦略会合の要旨

14日に催された、首相以下、予算大臣（国務大臣兼任）、国家経済大臣、財務大臣、中央銀行（BCR）総裁等が出席するトロイカ戦略会合の主な内容は以下のとおり。

##### 2015年の経済成長率予測

7.7%と変更なし

##### インフレ率

2015年度目標3.5%に対し0.769%と修正

##### 対ドル為替市場（14日付）

銀行間レート927.00コンゴ・フラン、市中レート933.5コンゴ・フラン

##### 外貨準備高（14日付）

1,506.43百万ドル、輸入額の6.22週間分

##### 政策金利

2%で維持

##### 国庫残高（14日付）

1,625.89億コンゴ・フランの赤字

（歳入403.21億コンゴ・フラン、歳出2,029.11億コンゴ・フラン）

### 3. 各国、対外関係

#### （1）第6回中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）

中国の習大統領が、アフリカでの開催は初となる、第6回中国・アフリカ協力フォーラムにおいて、アフリカ全体で600億ドルの借款支援を約束した。そのうちの50億ドルは無利子である。更に、アフリカ諸国のなかでも後発諸国に対して、2015年末の債務帳消しを宣言した。

これを受けて、コンゴ（民）政府は、600億ドルの支援をいかに多く引き寄せるかの協議を実施し、中国・コンゴ協力・計画調査事務局によると、バナナ地区の深水港建設、国内各所の鉄道整備、空港建設、キンシャサ・ルブンバシ間の道路建設、などいくつかの

事業提案を行う予定。(7日付け Observateur など)

**(2) オランダ大統領、再生エネルギーの分野に20億ユーロの支援**

フランスのオランダ大統領は1日、COP21の為に現地入りしている10数カ国のアフリカ各国首脳と協議を実施し、2020年までに再生可能エネルギーの分野で20億ユーロの支援を約束した。(2日付けACPなど)

**(3) UNWomen、性的暴力問題に係る対策として150万ドルの支援**

ムランボ＝ヌクカUNWomen事務局長が1日から5日までコンゴ(民)を訪問し、当機構が支援しているブカブのパンジ病院を視察し、キンシャサの性的暴力被害者達と面会した。次いで、女性大臣とマタタ首相と会合し、性的暴力問題への対策として150万ドルの支援を表明した。(8日付け le potentiel)

**(4) アメリカ・イギリス・コンゴ(民)関係**

ムウァング初等・中等・新公民権啓蒙大臣は9日、USAIDとDFIDによる、1億8,000万ドルに上る教育分野への支援協定に署名した。当事業は140万の児童を対象とする識字能力と計算能力向上事業である。(10日付け Forum)

**4. その他**

**(1) 2015年版人間開発指数(HDI)の発表**

UNDPが発表した人間開発報告書によると、コンゴ(民)の人間開発指数(HDI)は2013年の187か国中186位から、2014年は188か国中176位に上昇した。HDI構成要素の中でもとりわけ平均余命の改善が大きく貢献し、58.7年であった。一人当たり国民総所得(GNI)は680ドルと停滞しており、UNDPは若者の失業率対策が喫緊の課題であるとした。(16日付け Radio okapi など)

**(2) ポリオ・フリー宣言**

WHOは20日、2011年の同日より4年間ポリオが発症していないとして、コンゴ(民)のポリオ・フリーを宣言した。小児へのワクチン接種は引き続き実施される。(21日付け le potentiel など)

**(3) 外務省の会計士、2～3百万ドルの公金持ち出し**

外務省に所属する会計士が公金を持ち出し数日ほど行方不明になっている。持ち出した額は2～3百万ドルに上る。当該金額は大使赴任にかかる経費の一部、そして既に実施されている一連の出張費として使用される予定であった。(22日付け RFI など)

**(4) 新たに300人の若者が公務員の職へ**

「ヤング・プロフェッショナル」プログラムの枠組みにおいて、各州からの大学生合計300人が、公務員試験に合格し新たに公務員となった。当プログラムは行政機関の若返り、近代化を目的としている。(27日付け Radio okapi など)